

01. 展示会 募集要項

- 展示会期 2019年 9月 24日(火) 展示会 (+シンポジウム協賛プレゼンテーション) 時間未定
 25日(水) 展示会 (+シンポジウム協賛プレゼンテーション) 時間未定
 26日(木) 展示会 (+シンポジウム協賛プレゼンテーション) 時間未定

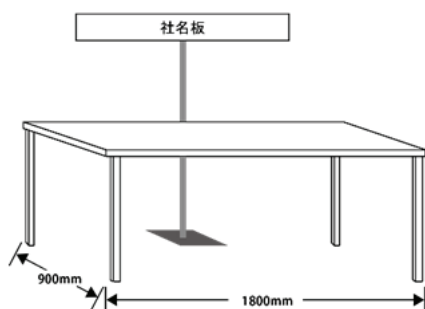
● 展示会場 シーガイアコンベンションセンター(〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山)

● 小間タイプ・出展料(消費税別) 募集小間数 : 36 小間



— 小間規格: A、C タイプ共通 —

宮崎年会用の
 基礎小間パターン色を用意しました。
 次ページをご覧ください



— 小間規格: B タイプ —

Aタイプ ¥250,000

+ ¥50,000/回 シンポジウム協賛プレゼンテーションでの展示紹介*

日本生物物理学会年間支援スポンサー: 225,000円/1小間

出展募集対象 : 機器試薬・ソフトウェア・受託サービス等

- ◎ 展示台 (W1,800 × D900 × H750mm: 布にて覆います) 社名板、イス(1脚)、蛍光灯 (40W: パラペット裏側に設置) が付いています。バック・ソデパネルは、ベニヤパネルを使用し、加工紙表装をします。
- ◎ 床面に直接 機器類を設置したい場合には、申込時「展示台の有無」の欄で不要台数を記入ください。
- ◆ 展示説明員の名札は 1小間に付き 4枚配布いたします。
- ◆ 年会プログラム集を搬入日に 1冊/1社配布いたします。

* + ¥50,000 にてシンポジウムの合間に 5分間のピッチトークによる展示紹介を 1回実施頂けます。詳細は「シンポジウム協賛プレゼンテーション募集要項」ページをご覧ください

Cタイプ ¥100,000

出展募集対象 : アカデミック

Cタイプのアカデミック対象は、大学や公的機関の研究施設等で出展される場合を対象としております。大学発ベンチャー企業も対象といたしますが、出展条件としまして出展の際は大学名表記をします。

- 小間規格は上記「Aタイプ」と同様です
- ◆ 展示説明員の名札は 1小間に付き 4枚配布いたします。
- ◆ 年会プログラム集を搬入日に 1冊/1社配布いたします。

Bタイプ (バックパネルなし) — ¥20,000

募集対象 - 出版社・書店・翻訳のみ

- ◎ 展示台 (W1,800 × D900 × H750mm)、社名板、イス(1脚)が付いています。
 ※ 布はご用意ください
- ◎ バック・ソデパネル、照明器具は付いておりません。
- ◆ 展示説明員の名札は 1小間に付き 4枚配布いたします。

※電力をご利用の場合は、別途 電源仮設工事のお申込みが必要です。

電力(100V)を使用の場合は、電源仮設工事費(消費電力料金)は出展者の負担になります。料金は以下のとおりです。

500Wまで 30,000円 501W以上 1KWまで 35,000円

コンセントは、1KWごとに1個(2口)付属いたします。また、コンセント数の増設や要アースを希望される場合は、別途費用がかかります。

※1KW以上使用の場合は、1KW増すごとに 15,000円を加算させていただきます。

※200V(単相・三相)を使用の場合は、別途仮設となり100Vより割高になります。ご了承ください。

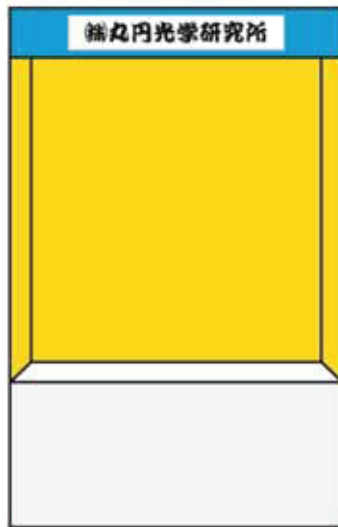
第57回日本生物物理学会年会 展示会

展示会場 3小間並びイメージ



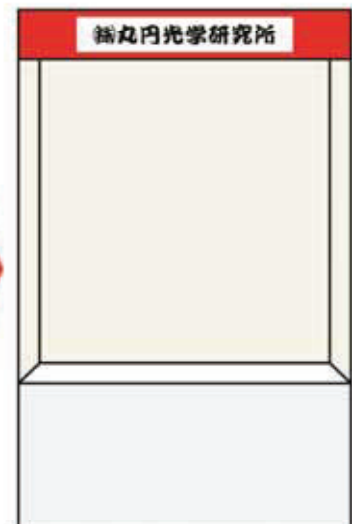
基礎小間パターン色

今回、基礎小間のカラーを、3パターンで用意しました。お申込みの際にパターンからご指定ください。



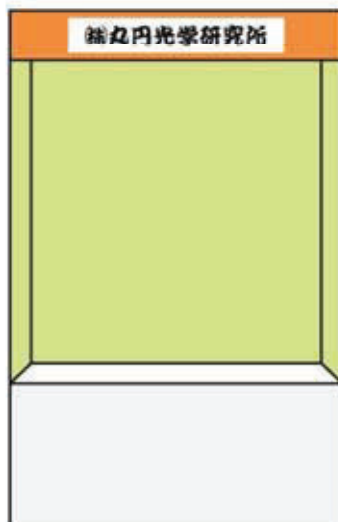
基礎小間パターンーい

社名板フォント : 勤亭流
 パラペット色 : 水色(Y468)
 壁面色 : 黄色(Y439)
 展示台布 : 白布



基礎小間パターンーろ

社名板フォント : 勤亭流
 パラペット色 : 赤色(Y497)
 壁面色 : 白色(Y401)
 展示台布 : 白布



基礎小間パターンーは

社名板フォント : 勤亭流
 パラペット色 : 橙色(Y441)
 壁面色 : 若葉色(Y453)
 展示台布 : 白布

- 申込締切日 2019年6月10日
 ※小間数に制限がありますので、お早めにお申込みください。
 ※満小間になり次第締め切らせていただきます

- 申込方法 規定の申込書に必要事項をご記入の上、お申込みください。
 ※「様式 00 協賛申込書(全社提出)」と併せて「様式 01 展示会」をご提出ください。
 ※申込み後 請求書を発行します。なお、振込手数料は出展者の負担となります。

申込書を展示会事務局が受理し、申込担当者に申込受理確認を E-mail で送信いたします。この時点で申込受付が完了となります。但し、初めて出展される場合に主催確認を要することがございますご了承ください。

- 出展の変更・取消し
 申込受付完了後は、出展の変更・取消しについて以下キャンセル料金がかかります。ご了承ください。
 ※出展者からの出展申込みの全部または一部の取消・解約(申込小間数の削減を含む)は、主催者においてこれを了承しない限り認めません。主催者が出展者からの出展申込みの全部または一部の取消・解約を了承する場合には、出展者は以下のとおりのキャンセル料を支払わなければなりません。

解約料金	6月10日迄に受領した場合……請求額(出展料+消費税を含めた金額)の50%の金額をお支払いいただきます。
	6月11日以降に受領した場合……請求額(出展料+消費税を含めた金額)の全額をお支払いいただきます。

- 申込先 株式会社 エー・イー企画 展示会事業部 担当：長瀬 仁
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4F
 TEL.03-3230-2744(代表) / FAX.03-3230-2479
 専用 E-mail: ejbp57@aeplan.co.jp

- 小間の割当て 申込期限後に、展示物の種類・形状・重量・小間数などを考慮の上、出展者にご通知申し上げます。出展者説明会は行いませんのでご了承ください。

- 展示物の管理 各展示物の管理は出展者が責任をもつものとし、展示期間中の展示物の盗難・火災・損傷など、不可抗力による展示物の損害に対して、補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。

- 搬入／搬出 < 予定 > 搬入… 2019年 9月 23日(月) 14:00~18:00
 搬出… 2019年 9月 26日(木) 未定

2015年 - 2018年 展示会 出展者一覧

AMED 創薬等ライフサイエンス研究支援
 基盤事業(BINDS)
 AMED Human Frontier Science Program
 (HFSP)
 INTEGRA Biosciences AG
 JPK Instruments AG(ブルカージャパン)
 アズワン(株)
 (株)アプロサイエンス
 アンドール・テクノロジー Ltd / オックス
 フォード・インストゥルメンツ(株)
 英文校正エナゴ/論文翻訳ユレイタス
 (クリムゾン)
 (株)オプトサイエンス
 (株)オプトライン
 オリンパス(株)
 オレンジサイエンス(同)
 カクタス・コミュニケーションズ(株)
 (株)カワニシ 岡山支店
 キーストン サイエントフィック(株)
 キヤノンマーケティングジャパン(株)
 クロマテクノロジー ジャパン
 ケイエルブイ(株)
 (公財)高輝度光科学研究センター
 SPring-8 / JASRI
 神戸市 / 神戸医療産業都市推進機構
 ジーンフロンティア(株)

シグマ光機(株)
 ジャパンハイテック(株)
 昭光サイエンス(株)
 ショーシン EM(株)
 (株)スクラム
 ストレックス(株)
 スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカ
 ル事業部
 (株)生体分子計測研究所
 (株)セルフリーサイエンス
 ソーラボジャパン(株)
 (株)ソリューションシステムズ
 大学連携バイオバックアッププロジェクト
 (IBBP)
 ダッソー・システムズ・バイオビア(株)
 ツジ電子(株)
 ティー・エイ・インストゥルメント ジャパン(株)
 (株)デジタルデータマネジメント
 (株)東京インストゥルメンツ/PCO AG
 ナニオンテクノロジーズジャパン(株)
 並木精密宝石(株)
 (株)ニコンインステック
 日本カンタム・デザイン(株)
 (株)日本レーザー
 (株)ニューメタルスエンドケミカルスコープ
 レーション

ネオアーク(株)
 ネットパジーン(株)
 パーク・システムズ・ジャパン(株)
 バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)
 バイオリサーチセンター(株)
 浜松ホトニクス(株)
 (株)ビジコムジャパン
 日立工機(株)
 兵庫県立大学 リーディング大学院
 (株)フォトロン
 ブルカージャパン(株)
 ヘルツ(株)
 (株)メステック
 (株)メニコ
 (株)モルシス
 (株)薬物安全性試験センター
 ヤマト科学(株)
 (株)羊土社
 ヨダカ技研(株)
 ラドデバイス(株)
 (株)リガク

※アルファベット・50 音順。敬称略。
 ※2018年 10月 15日

◆生物物理の研究用関連製品等は

酵素作用・イオン分子識別・感覚・情報処理・遺伝・光合成・エネルギー変換・運動・行動

— あらゆる生命活動のメカニズムを、電子や分子のレベルで、目で見ることがとくに、完全に理解することをめざす学際
 的ライフサイエンス — これが生物物理学ですが、その研究過程において関連する高頻度使用機材を以下に記載し
 ます。

- 超遠心機、純水製造装置、細胞破碎器、ミキサー、ホモジナイザー、恒温槽、恒温室、フリーザー、滅菌器、分光光度計、デンス
 トメーター、核磁気共鳴装置、NMR データ解析ソフトウェア、電子・核二重共鳴装置、電子スピン共鳴装置、円二色性測定装置、
 LB 膜作製装置、蛍光光度計、蛍光寿命測定装置、サブピコ秒レーザー、ホトンカウンター、CCD カメラ、SIT カメラ、ディテクター
 アレー、イメージインテンシファイアー、FT・ラマン分光光度計、FT・IR 分光光度計、原子吸光、MAS(質量分析装置)、FT-MAS、
 電子顕微鏡、光学顕微鏡、トンネル走査顕微鏡、原子間力顕微鏡、画像解析システム、顕微分光装置、マニピレーター、セル
 ソーター、高入力抵抗アンプ、レコーダー、トランジェントメモリー、各種コンピュータ、3D グラフィックソフトウェア、画像処理システ
 ム、分子力場計算ソフトウェア、分子軌道計算ソフトウェア、各種クロマトグラフ、電気泳動装置、ポンプ、フラクションコレクター、
 スケーラー(天びん)、ガラス器具、pH メーター、イオン電極、各種試薬・薬剤、関連書籍 など。